

令和7年度 石と賢治のミュージアム運営委員会

日時 令和7年4月18日(金)

午前10時～11時

場所 石と賢治のミュージアム

次 第

1 開会

2 あいさつ

石と賢治のミュージアム 館長 菅原 淳

3 協議

(1) 令和6年度石と賢治のミュージアム事業報告について

ア 令和6年度自主事業等事業報告 資料1

イ 令和6年度入館者数 資料2

(2) 令和7年度石と賢治のミュージアム事業計画(案)について

ア 令和7年度自主事業等事業計画(案) 資料3

(3) その他

4 その他

5 閉会

石と賢治のミュージアム運営委員名簿

No.	役職	氏名	所属
1	委員長	佐々木賢治	
2	委員	山崎幸一	
3	委員	佐藤郁子	
4	委員	岩越裕史	
5	委員	山崎一	
6	委員	吉田美和子	
7	委員	佐藤美枝	
8	委員	鈴木正敏	
9	委員	鈴木加代子	

1、令和6年度 石と賢治のミュージアム事業報告

資料 1

(1) 自主事業

・企画展

タイトル	内容	開催期間	入館者数
イーハトーブの石展	文教大学名誉教授 ████████ 先生が収集した岩手の岩石・鉱物を展示 4/28(日)講演会を開催、講演会後は聴講者と交流	4/6(土)～5/19(日)	1,213
スマホで撮った鉱物写真展	4～5月の石っこの集いで撮影した鉱物写真(7名16作品)と一関広報担当の4作品を展示	6/1(土)～6/30(日)	469
岩手の金山 (企画展&講演会)	「みちのくGOLD浪漫」との共催企画として、岩手・宮城の金鉱道具、標本、分布図などを展示したほか、9/22(日)は理学博士 ████████ 氏の講演会を開催	9/21(土)～ 10/14(月・祝)	674
鉱物体験コーナー	鉱物展示室で鉱物を間近に観察、蛍光効果などを体験	9/21(土)～ 11/24(日)	1,528
クリスマス企画 手づくりを楽しもう	ボランティアガイドの方の協力をいただき、毛糸を使った可愛い小物づくりを行った	12/14(土)	2
写真展 猊鼻溪の四季	猊鼻溪名勝指定100周年記念企画、地元の ████████ 氏の写真展	3/1(土)～3/23(日)	250

・イベント

タイトル	内容	開催期間	参加者数
第23回 グスコーブドリの大学校	初日は立正大学名誉教授・ ████████ 先生の講演、2日目は東磐井の交通や文化財についての講話、群読などを行った	7/21(日)～7/22(月)	115
第12回 雨ニモマケズ朗読会	朗読のほか、詩吟・演劇・歌などで賢治作品を味わう参加型の鑑賞会	11/4(月・振休)	51

・移動研修

タイトル	内容	開催日	参加者数
地質の日移動研修	東北大学名誉教授・ ████████ 先生から学ぶ地質のお話と化石採集(仙台市泉区焼河原)	5/12(日)	22
海の日移動研修	宮沢賢治記念館を訪ね、「花巻おもてなし観光ガイド」による案内付き見学	7/7(日)	13

・講座

タイトル	内容	開催日	参加者数
面白い石の世界とこねこね せっけん作りを楽しもう	放課後子ども教室「ハッピースマイル東山」との共催事業でせっけん作りと館内見学を実施	2/15(土)	6
おひなさまづくり	宮沢賢治ボランティアガイドの会 会長に講師をお願いし、手作りおひな様を制作	2/16(日)	15

・共催

タイトル	内容	開催日	参加者数
一関市東山町の古生界と化石	岩手県立博物館主催の地質観察会 を粘土山で実施後、石と賢治の ミュージアムを見学	10/26(土)	16

・その他事業

タイトル	内容	開催日	参加者数
賢治を読む会	宮沢賢治作品を輪読し、作品の理 解を深める	毎月第4土曜日	66
石このつどい	鉱物好きの皆さんが集まって交流 する場	4月～11月最終日曜日	92
おもちゃ図書館	太陽のホールを活用し、ぬくもり のある木のおもちゃに触れてもら う機会となった	6月、9月、12月、2月の 土曜日全4回	68

(2) 元気な地域づくり事業

タイトル	内容	開催日	参加者数
谷川賢作ピアノソロライブ	ピアノ演奏とともに、父・谷川俊 太郎氏と祖父・徹三氏を語る公演	7/21(日)	84
宮沢賢治演劇ワークショップ	劇団黒猫舎の代表による指導のも と宮沢賢治3作品を練習。最終日 には発表会を行った	9/21(土)～ 9/23(月・振休)	53
田原田鶴子絵画展	岩手出身の画家による宮沢賢治作 品を題材にした絵画展及び幻灯会 (スライドショー)	7/13(土)～9/16(月・ 祝)	2,112
たかはしこはく個展	東山出身及び在住の若手作家によ る銅版画・絵画・東山和紙を素材 とした作品展	10/19(土)～11/24 (日)	818
化石採集代替地整備	敷地内に化石採集エリアを作り、 親子連れや化石好きの入館者に見 学と体験を同時に楽しんでいた	7月上旬整備完了、供 用開始	248

	免除				大人		大学・高校		小中学生		太陽ホール	双思堂文庫	合計
	減免	65歳	障・介	共通P	団体	個人	団体	個人	市内	市外			
4月	21	48	10	9	0	304	0	7	25	36	119	51	630
5月	22	50	35	6	0	575	0	21	31	90	120	104	1,054
6月	5	29	24	10	27	313	0	6	11	44	112	43	624
7月	101	90	18	4	35	511	0	18	51	127	95	51	1,101
8月	4	43	40	6	0	672	0	45	76	179	158	62	1,285
9月	11	42	15	10	62	518	0	22	93	93	98	66	1,030
10月	15	81	25	3	0	437	0	7	6	44	92	84	794
11月	187	85	5	2	0	255	0	8	35	42	92	74	785
12月	0	12	7	3	0	150	0	14	8	7	112	53	366
1月	0	9	1	2	0	122	0	5	11	24	90	40	304
2月	4	43	4	2	0	135	0	10	17	22	117	36	390
3月	0	43	8	4	0	230	0	23	30	50	124	43	555
合計	370	575	192	61	124	4,222	0	186	394	758	1,329	707	8,918



	大人	学生	小中学生	65歳	障がい者	ホール	文庫	総合計
R4	4,457	209	1,170	910	190	1,460	492	8,888
R5	3,987	199	1,022	417	133	1,118	743	7,619
R6	4,772	191	1,152	575	192	1,329	707	8,918

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4月	486	1,687	817	99	545	556	637	630
5月	796	2,254	1,259	211	1,088	1,407	912	1,054
6月	603	1,463	823	441	455	585	536	624
7月	855	1,720	928	867	872	975	848	1,101
8月	1,184	1,203	1,217	1,352	649	1,162	1,301	1,285
9月	843	801	780	897	477	956	665	1,030
10月	619	996	771	1,010	674	1,033	622	794
11月	700	725	912	1,062	738	777	689	785
12月	281	457	281	234	345	308	167	366
1月	304	385	417	167	232	259	324	304
2月	307	383	464	417	259	352	418	390
3月	494	697	395	457	716	518	500	555
合計	7,472	12,771	9,064	7,214	7,050	8,888	7,619	8,918

◇宝石の国展 4/1～7/19
 ◇旧東北砕石工場の見学再開9/13～
 ◇4/19～5/10コロナ対策で休館
 ◇8/13～9/16市民のみ入場可

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
合計	5,757	6,557	4,927	7,602	8,025	7,614	7,979	8,941

◇震災のため休館 H23/4/8～4/10
 ◇震災工事のため休館 H24/2/4～2/27
 ◇賢治生誕120年記念
 ◇改修工事のため
 旧東北砕石工場見学中止
 見学中止12/1～

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
合計	7,565	7,152	7,632	10,715	8,300	9,441	7,906	5,440

	平成12年度	平成11年度
合計	7,106	12,893

◇開館日 H11.4.3

令和5年11月18日 20万人到達

累積入館者数 210,548人

令和6年度教育機関等団体利用者

(人数は有料・減免含む)

No.	来館日	団 体 名	人 数
1	5月14日	涌津市民センター高齢者教室	22
2	6月13日	八幡平市立松野小学校	15
3	6月15日	稲瀬振興会女性部	30
4	6月28日	立花史談会	10
5	6月30日	一関市視覚障がい者協会	17
6	7月7日	長坂1区自治会研修	19
7	7月7日	川崎館萩自治会	19
8	7月10日	桐朋女子中学校	43
9	7月26日	水沢地域福祉推進協議会羽田支部	35
10	7月28日	ふるさと探検隊in一関(室根支所事業)	39
11	8月3日	市民講座はなまき賢治セミナー(親子編)	29
12	8月29日	東山中学校1年生	39
13	9月10日	県立総合教育センター理科教育研修	8
14	9月13日	東山小学校2年生ほか	57
15	9月19日	東山小学校6年生	42
16	9月20日	聖ウルスラ学院5年生	52
17	9月25日	矢沢振興センター明朗大学	42
18	10月18日	舞川市民センター	15
19	10月23日	奥玉天ヶ森老人クラブ	17
20	10月24日	花巻市シニア大学	13
21	10月30日	認定こども園私立さくら保育園	23
22	11月15日	社会教育委員研修	21
23	3月26日	春休み体験ツアー(市内小学校4~6年生)	12
		合 計	619

2、令和7年度 石と賢治のミュージアム事業計画（案）

(1) 自主事業

・企画展

タイトル	内容	会期
M' S MINERAL COLLECTIONS	当館協力研究員が集めた珠玉の鉱物コレクションの展示	4/26（土）～7/6（日）
鉱物写真展	当館協力研究員が撮影した美しい鉱物の写真展示	6/21（土）～7/6（日）
現役高校生 鉱物コレクション展（仮称）	現役高校生の石博士が所有する鉱物展と8/3（日）本人による鉱物解説	7/19（土）～9月
安斉重夫氏 鉄の彫刻展 （仮称）	宮沢賢治作品を鉄で表現したアート展	7/27（日）～9月中旬
風の巡礼 「経埋ムベキ山」絵画展 （仮称）	花巻市在住の画家■■■■氏による宮沢賢治ゆかりの地詩画展	10月～11月

・イベント

タイトル	内容	開催日
第24回 グスコーブドリの大学校	宮沢賢治に関する講演会やゆかりの地を訪ね、作品や賢治についての理解を深めるイベント	7/27(日)～7/28(月)
第13回 雨ニモマケズ朗読会	朗読のほか、詩吟・演劇・歌などで賢治作品を味わう	11/3(月・祝)

・移動研修

タイトル	内容	開催日
賢治の足跡をたどる 紫波&矢巾ツアー	賢治とかかわりが深い人物について学び賢治詩碑を巡る、「ブドリとネリの会」との共催研修	6/13(金)
化石の日移動研修	大船渡市立博物館と大船渡市内で化石採集を行う	10月

・講座

タイトル	内容	開催日
おひなさまづくり	ボランティアガイドの会会長による手作りお雛様ワークショップ	2月中旬

・その他事業

タイトル	内容	開催日
賢治を読む会	宮沢賢治作品を輪読し、作品の理解を深める	通年毎月第4土曜日
石っこのつどい	鉱物好きの皆さんが集まって交流する場	4月～11月最終日曜日
おもちゃ図書館	太陽のホールを活用し、木のおもちゃなどに触れてもらう機会とする	6・9・12・2月の日曜日の午前中、4回実施予定

(2) 元気な地域づくり事業

タイトル	内容	会期
宮沢賢治演劇ワークショップ	劇団黒猫舎（奥州市）による宮沢賢治作品（童話）の演劇ワークショップ（3回と発表会）	9/13（土）～9/15（月・祝）
グスコブドリ学園（仮称）	東山小・中学校と連携して東山の地域資源、地域の文化、伝統工芸などを学ぶ ①中学生対象（宇宙・天文） ②小学生対象（化石・地質） ③小学生対象（紫雲石硯、東山和紙）	9月～11月
写真展 「伝えたい故郷の魅力たち」	室根町在住のフォトグラファー■■■■氏による写真展を3回に分けて展示 ①一関の春と夏 ②一関の祭りと暮らし ③一関の秋と冬	①4/19（土）～5/6（火） ②5/9（金）～5/25（日） ③5/28（水）～6/15（日）

令和7年度石と賢治のミュージアム年間スケジュール

24年	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		25年・1月		2月		3月	
	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日
1	火		木		日		火		金		月		水		土		月		木		日		日	
2	水		金		月		水		土		火		木		日		火		金		月		月	
3	木	開館記念日	土	憲法記念日	日	博士ちやんの解説会・石っこの集い	木	水	日	月		水		金		月		土		年始休館日		火		休館日
4	金		日	みどりの日	月	休館日	金	木	月		火		土		日		水		土		火		休館日	
5	土		月	こどもの日	火		土	金	火		水		日		月		木		日		水		休館日	
6	日		火	振替休日	水		日	月	水		木		火		土		金		火		木		休館日	
7	月	休館日	水	休館日	木		火	月	木		金		水		日		土		水		日		休館日	
8	火		木		日		火	月	金		土		水		月		日		木		日		休館日	
9	水		金	大船運船台絵写真展②	月	休館日	水	火	土		日		木		月		火		金		月		休館日	
10	木		土		火		木	水	日		水		金		日		木		土		火		休館日	
11	金		日		水		金	木	月	山の日		火		土		月		日		水		水		
12	土		月	休館日	火		土	火	火	休館日		日		日		水		月		成人の日		木		
13	日		火		水		日	水	水		土		月		木		火		火		金		休館日	
14	月	休館日	水		木		月	木	木		日		火		金		水		水		土		休館日	
15	火		木		火		火	水	金		月		水		土		月		木		日		休館日	
16	水		金		水		水	木	土		火		木		日		火		金		月		休館日	
17	木		土		木		木	金	日		水		金		月		水		土		火		休館日	
18	金		日		火		金	水	月	休館日		木		土		木		日		水		水		
19	土		月	休館日	火		土	木	火		金		水		日		金		月		木		休館日	
20	日		火		水		日	金	水		土		木		月		土		火		金		春分の日	
21	月	休館日	水		木		月	火	木		日		火		金		日		水		土		休館日	
22	火		木		火		火	水	土		月		水		日		月		木		日		休館日	
23	水		金		水		木	木	火		火		木		日		火		金		月		休館日	
24	木		土		木		金	水	日		水		土		月		水		土		火		休館日	
25	金		日		火		月	木	月		木		日		日		木		日		水		休館日	
26	土		月	賢治を讀む会 鈴木実・鮎物展	火		土	金	火		金		日		月		金		月		木		休館日	
27	日		火	石っこの集い	水		日	水	水		土		木		日		土		火		金		休館日	
28	月	休館日	水	賢治を讀む会 大船運船台絵写真展③	木		月	木	火		日		火		月		日		水		土		賢治を讀む会	
29	火		木		火		火	水	金		月		水		日		月		木		日		賢治を讀む会	
30	水		金		水		木	木	土		火		金		日		火		金		月		石っこの集い	
31	日		土		木		日	金	日	石っこの集い		水		月		土		水		土		火		
開館数	26		27		27		27		27		24		27		27		26		24		23		25	

①GW及び7-8月のハイシーズンはお客様優先とし祝日の振替を最小限に抑える。(5日) ②月曜日が祝日・振替休日の場合、閉歇期(12~2月)を除き火曜・水曜の連続休館は実施しない。(3日)

○一関市石と賢治のミュージアム条例

平成17年 9 月20日

条例第90号

改正 平成26年 3 月14日 条例第22号

(設置)

第1条 旧東北砕石工場に関する歴史及び文化を保全し、関係者の功績を顕彰するとともに、資料の収集、保管、展示等を行い、これを広く伝承し、地域の教育文化の向上に資するため、石と賢治のミュージアム（以下「ミュージアム」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第2条 ミュージアムの名称及び位置は、次のとおりとする。

ミュージアムの名称	位置
石と賢治のミュージアム	一関市東山町松川地内

2 ミュージアムの施設の名称及び位置は、次のとおりとする。

施設の名称	位置
旧東北砕石工場及び坑道	一関市東山町松川字滝ノ沢平117番地 1 外 3 筆
太陽と風の家	一関市東山町松川字滝ノ沢153番地 1 外 5 筆
双思堂文庫	一関市東山町松川字滝ノ沢152番地 9
賢治・東蔵を語る休憩室	一関市東山町松川字滝ノ沢146番地 1 外 1 筆

(管理)

第3条 ミュージアムは、常に良好な状態において管理し、見学者等の利便に供するとともに、その設置目的に応じて、効率的に運用するものとする。

(職員)

第4条 ミュージアムの管理運営のため、太陽と風の家には館長のほか、必要な職員を置く。

(運営委員会)

第5条 ミュージアムの円滑な運営を図るため、一関市石と賢治のミュージアム運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会の委員は、市長が委嘱し、委員の定数は、10人以内とし、任期は、2年とする。

(入館料)

第6条 展示資料を観覧するためミュージアムに入館しようとする者は、別表に定める入館料を前納しなければならない。

(入館料の減免)

第7条 市長は、特別の理由があると認めるときは、入館料を減額し、又は免除することができる。

(入館料の不還付)

第8条 既納の入館料は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(損害賠償)

第9条 自己の責めに帰すべき理由により施設、設備又は資料等に損害を与えた者は、市長の指示に従い、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第10条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年9月20日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の石と賢治のミュージアム設置条例（平成11年東山町条例第6号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

附 則（平成26年3月14日条例第22号）

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

別表（第6条関係）

区分	入館料（1人1回につき）	
	個人	団体（20人以上の場合をいう。）
高校生、大学生	200円	160円
一般	300円	240円

備考

1 期間を定めて特別の企画により資料を展示する場合において、その資料を観覧し

ようとする者については、その都度市長が定める額を別に徴収することができる。

- 2 「高校生、大学生」には、専門学校生及び大学院生を含む。
- 3 小学校就学の始期に達していない者、小学生及び中学生は、無料とする。